

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2017年
7月発行

No. 166

リビング・ウイル

社会状況に沿った

LWの見直し

——より役に立つ指示書に

○インタビュー

妹尾河童さんご夫妻

○17年度事業計画と予算

○新連載「四季の歌」



一般財団法人
日本尊厳死協会

舞台美術家 エッセイスト

妹尾河童さん

ご夫妻

茂子さん

空襲に遭い やがて父を看取り 「尊厳死」に共感

30年前から「尊厳死協会」に入会されている妹尾河童さんご夫妻に、その死生観から、お互いに本音で向き合っていたの暮らしまでを語っていただきました。

構成／編集部 写真／八重樫信之



父親の死で感じた 延命処置への疑問

インタビューを快諾いただきまして、ありがとうございます。玄関の表札を拝見しますと、「妹尾・風間」と出ていますが、別姓を名乗っておられるんですね。戸籍の上でも別姓ですか？

河童 戸籍は「妹尾茂子」です。彼女が初めて本を出したとき、著者名を旧姓の「風間」にして、以後、ペンネームにしたらと提案しました。僕と別れたり死別しても、「もと妹尾河童の女房」という注釈をつけなくても、そのまま生きていけるからイイのではないかと考えたからです。

それで表札が「妹尾・風間」なんです。家ではお互い「河童」「モコ」と呼び合っておられるように、ユニークですね。

モコ 取材に来られた方が興味をお持ちになりますね。「しげこ」と呼ぶより「モコ」のほうが発音しやすいからと、河童も友人たちも、みんな「モコ」と呼んでいました。

河童 我が家には、「主人」はいなくて「河童」がいます。

「尊厳死」については同意見だったようで、30年前に、お二人と一緒に尊厳死協会に入会されていますね。

河童 ええ、1987年でしたから、僕は57歳で、カミさんは55歳でした。入会の動機は父親を看取ったことからです。あのとき、「医療とは何だ？」と、疑問を持ちました。父は家の玄関で足を滑らせ、たたきに転落して動けなくなり、救急車で病院に運ばれたんですが、肺炎になりました。

モコ 連日のように検査と称して、ベッドから上半身を起こされ、レントゲン撮影やチューブでの薬の注入が続き、酸素吸入の過剰な処置で、顔が真っ赤に腫れ上がり、苦しそうな息をしていました。ハアハア言いながら、今まで世話になった一人ひとりの名前をあげ、「この人たちに、いろいろありがとうございました、と伝えてほしい」と言い、「先生に、もう十分

に生きたので酸素マスクとチューブを外してくださいとお願いしたい」と頼むので、主治医にそう伝えると、「それは出来ません。私は殺人罪に問われます！」と断固として拒まれました。

河童 「では、治る見込みはあるのですか？」と聞くと、「それは無理です。正面玄関からは、退院できません」とハッキリ言ったのが分かっていくのに、延命させ人は必ず死を迎えます。本人も家族も、それを納得しているのに、まったくそれを受け入れないのが正しい医療行為だと本当に信じているのか？と、疑問を持ちました。

モコ 苦しむ父親を見ているのが辛かったです。それから2日後、苦しみながら息を引き取りました。あの亡くなり方は本当に可哀相でした。父は死を恐れていたのではなく、延命の処置の苦痛を拒否していたのです。

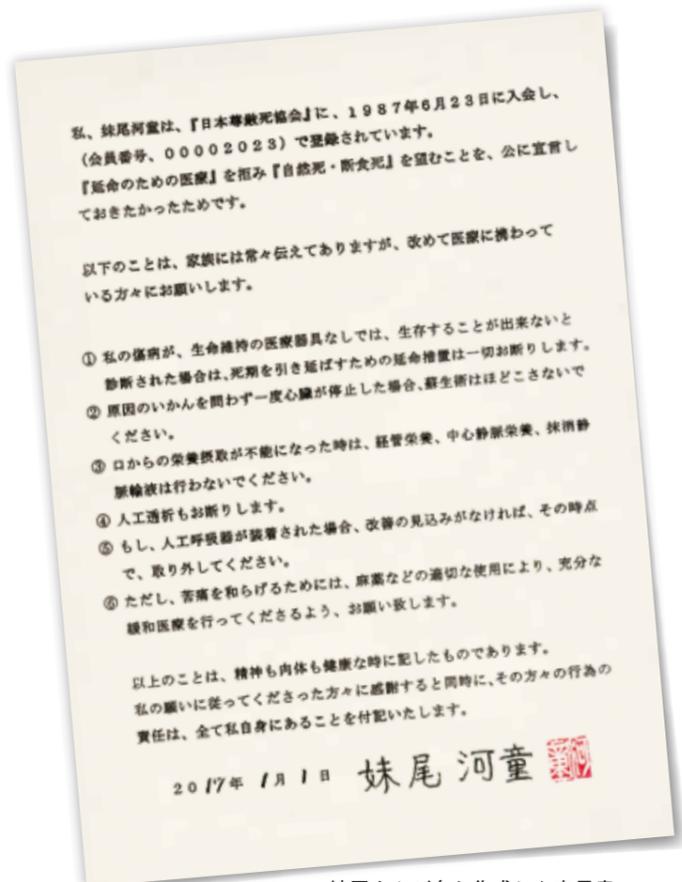
お父さまが亡くなられたのは何歳でしたか。

河童 85歳でした。父は洋服の仕事で職人だったんですが、終戦の5か月前の空襲で店を焼失してからは、戦災者住宅に住み、細々と洋服の修理などをしていました。

モコ 入院する2週間前まで、ミシンを踏んで仕事をしていました。「十分に生きた」というのは本音だったと思います。どうしてそう思うかというと、私が中学1年のころ、空襲の焼夷弾爆撃を受け、住んでいた東京の千駄ヶ谷の街中が猛火で包まれた中を、母と一緒に必死に走り、やっと新宿御苑の中に逃げ込んで、命拾いをしました。でも隣組の半分の人たちは、途中で別れて新宿外苑の絵画館のほうを目指し、死亡したんです。周囲からの地面を這うように吹き込んだ熱風で窒息死したんです。当時は、死ぬか生きるかは紙一重だったので、死の恐怖より、焼死や窒息死で、苦しみながら死ぬのは嫌だ、と思っていました。河童は、神戸で同じような体験をしています。私より2つ年上で、中学3年生でした。

河童 僕も死ぬかもしれないと思
いながら、家々が焼け崩れていく
中を、水を濡らした布団を頭から
被って、母親を叱咤激励しながら
逃げました。町はずれの野原に辿
り着き、生き残ったことをお互い
に知ったとき、母親が「感謝ね」
と言ったので、僕は「こんな目に
あつて何が感謝だ！」と腹がたち
ました。母はクリスチャンだった
ので、「神に守られ、2人ともケ
ガも火傷もしないで生きているじ
やないの」と、家が炎上したこと
にはまったく触れず、「だから感謝
よ」と言うのです。でも、僕は
神を信じていなかったたので、釈然
としませんでした。夜が明けると、
まだ燃っている煙を透かして、見
渡すかぎりの焼け野原になった街
が見えてきました。焼け焦げた町
のあちこちに、黒焦げになった死
体が転がっていました。その一人
ひとりが理不尽な死を呪いながら、
苦しかっただろうと思いました。

あれから72年経ちますが、今でも
も苦痛を感じない死なら恐れませ
んが、死に至るまでに苦痛がある



妹尾さんが自ら作成した宣言書

ことは拒否したいですね。カミさ
んと同世代でもあるし、父を看取
ったことでより強く感じていたの
で、「尊厳死協会」の存在を知つ
たとき、2人とも望んでいた団体
があつたことに感謝すら覚え、す
ぐ入会しました。

死の考え方を伝える 協会への期待

モコ 入会した30年前と違って、
今は「尊厳死」の意味を理解して
くれる医師も多くなり、「延命だ

けの医療」に疑問をもつ記事が雑
誌にも載るようになりました。で
もまだ「死の問題」は避けたがる
人が多いし、お年寄りに「尊厳死
協会」への入会を勧めても抵抗が
あるようです。

河童 それぞれの人が、自分自身
の死への考え方が変わらなないと、
入会しないでしょね。「尊厳死
協会」の役割として、年配の人に
も判りやすく伝える文章や方法を
考えてほしいです。

河童さんとモコさんご夫婦は、

き。旅に出ているときは、電話で。
レストランで外食しているときは、
その時に。僕のほうから、「また
1年、契約を更新してもらいたい
のだが」と言います。

モコ 「私もヨロシク」と応えると、
契約更新が成立するわけです。友
だちに言ってるんです、「1年契
約って便利よ。別れたい時、いつ
言おうかと躊躇う必要がないから。
私が更新はゴメン、と言えばいい
んだから」と(笑)。今年で、56
回の更新をしました。

**えっ、56回も？ その間に、迷
われたことはないんですか。**

河童 うーん、3回ほど。「今年
は更新してくれないだろうなあ
？」と心配したことがあったなあ。
若いころの僕は、女性に惚れっぱ
かったから…。でも最近はいイコ
です。(笑)

浮気が分かったとき、**モコさん**
は「NO」と言われなかった、そ
れはどうしてですか？

モコ 河童は「ウソをつきたくな
い」と言っていて、「いま彼女が好き
なんだ」と隠さないし、2人を好

きでいることも不思議ではないと
思ったからです。それよりもっと
大事なことは、私への関心がなく
なったり、愛情が希薄になつてい
るなら、その時に相手の女性がい
るかいないかに関係なく、契約更
新はストップします。そうじゃな
かったから更新できました。

河童 友だちが「俺、とても女房
と。1年契約」なんて恐ろしくて
出来ないなあ。もしバレたら、離
婚だ慰謝料だと大騒ぎになるに決
まってる」と言いました。僕だっ
て、モコとの生活をイメージには
考えていませんよ。カムフラージ
ユ無しの本音で向き合っています。

モコ 私は「別れないで」とすが
ったり、2人の信頼関係が崩壊し
ているのに、世間体を考えて「仮
面夫婦」を装うのは大嫌いですか
ら。同じ意見の河童を信頼してい

ます。でも、全ての男性がそうで
はないと思うけど、男はオスです
から(笑)。その性の違い、大き
いですよ。

河童 お互いの体調維持につい
ても、違いを認めないとね。モコは
夏の暑さに弱いんです。だから体
調を崩されると、僕も困る。それ
で、夏の7、8、9の3か月、軽井
沢に安い貸別荘を見つけたので、
東京を離れてもらった。8年間続
けていたけど、5年前に中止しま
した。

**中止されたのは？ それと
3か月間、河童さんの食事は？**

モコ 中止したのは、老化です
ね。78歳で車の運転をやめたこと。
習所のテストでは全部合格だった
んですが、自分自身の評価では、
左から跳びだしてくるものへの確
認が一瞬遅いと思ったからです。

苦痛のない死ならば 恐れることはない

「尊厳死協会」のリビングウイル
とは別に「私は『日本尊厳死協会』
に入会し、登録されています。私
は『延命のための医療』を拒み
……」という宣言書を作成して、
毎年1月1日に署名して更新して
いる、とお聞きしました。

河童 これがそれです(と見せる。
別掲参照)。かかりつけの医師にも、
娘や息子にも同じものを渡してあ
ります。倒れてからでは、自分の
意思を伝えるのは間に合いません
から、意識も体も健康なうちにと
思つて……。

**毎年更新といえば、「1年契約
の結婚」もなさっているそうです
ね。冗談ではなく？**

モコ ほんとうです(笑)。2月
6日が結婚記念日なので、その日
に毎年、契約を更新しています。

河童 これは、書面ではなく、お
互いに口頭で確かめ合ふんです。
**1年ごとの結婚更新で
お互いの気持ちを確認**

どんなふうに？

河童 家に居るときは、夕食のと

事故があつてからでは遅いですか
らね。もう1つは、別荘のドアを
開けるまでに、自然石を積んだ凹
凸の階段を14段も登るのが苦にな
ったから。河童の食事については
本人から聞いてください(笑)

河童 最初は家の近くの弁当屋で
買っていったんですが、油と僕との
相性がNGだったり、外食は栄養
のバランスが良くないと思つたの
で、それなら「自分で作れば文句
は言えない。自己責任でいこう」
となつた。覚悟して始めたら「料
理って面白いじゃないか」と。朝

と昼を合体させた11時と夜の7時
の2食でした。何を食べたか記録
してみようと思いたち、毎食をす
べて写真に撮り、アルバムに挿入
しました。それが良かった。記録
は持続につながった。アルバムを
パラパラ捲ると、「5日前はカロ
チンが不足しているな。3日前は
蛋白質が足りないぞ」とかがよく
分かる。飽きないように毎回日替
わりメニューにして、和洋中なん
でもありで、「明日の夕食は寿司
を握ろう」などと楽しんだ。

モコ 時々、料理写真が絵葉書になつて送られてきて、「こんなの作って食べてるから、心配しないでいいよ」と書いてあるの。それが美味しそうで盛り付けも見事で、さすが食いしん坊のデザイナーと感心しました。帰ったらこれを食べさせてもらおうと、手紙に「写真じゃ食べられないけど、ごちそうさま」と書き送ったり。

河童 僕は、3か月だから頑張れたけど、1年も続いたらダウンだなと思った。どこの主婦もエライと思いましたが。子供の面倒をみながら食事をずっと毎日作り続け、家事や雑事をこなしているんだから。僕が困ったなあと思ったのは、冷蔵庫を点検して食材の買い出しに出たり、宅配便の受け取りや、洗濯の時間などで、仕事に集中する時間が侵食され、途切れることだった。でも、それは自分で我慢して、モコには「涼しくなる秋まで帰ってこなくていいよ」と、言いたかった。モコは逆に、

僕に申し訳ないと思いつつ、それを言うたびに河童が嫌がるのを知っていたから、毎年出かけるときに、全く同じセリフを言い残して行つた。「自立のための訓練の時間を3か月、あなたに差し上げますから頑張ってください」と手を振つて。僕はその言葉がすごく気に入つたね。普通じゃ言えないユーモアがあったから。

モコ その言葉に、河童は笑いながら「ありがとう」と、応えてくれていましたね(笑)。
いい話ですね。今日は、表札が「妹尾・風間」になつている意味やお互いの死生観が同じ方向だったことや、お互いを認め合いながら本音で向き合つて暮らしていたら、しやる姿を垣間見せていただきました。ありがとうございました。



インタビューを終えて

「河童」「モコ」と呼び合うユニークなお二人ですが、その死生観には、あの戦争の空襲体験が色濃く反映されていました。中学3年と1年で体験した強烈な記憶。生と死はまさに紙一重。だから死は身近にあり決して恐れない、けれど「死に至るまでの苦痛は拒否したい」。尊厳死への強い思いが滲んでいました。

会報編集部・郡司武

せのお・かっぱ

1930年神戸生まれ。グラフィックデザイナーを経て独学で舞台美術家に。54年にオペラ「トスカ」でデビュー。以後、オペラ、バレエ、演劇、ミュージカルなどの舞台美術をはじめ、テレビ美術など映像デザインの分野でも活躍。著書に「河童が覗いた…」シリーズなど。自伝的小説「少年H」(97年)は340万部を超えるベストセラーに。海外でも訳され、2013年には映画化もされた。本名は「肇」だったが、現在はあだ名の「河童」が戸籍上の本名に。

せのお・しげこ

1932年新潟生まれ。エッセイスト。61年に河童さんと結婚。

協会LWと会員制度を一部改正——7月から

「署名立会人」「代諾者」指定もできます
「夫婦会員制度」は見直し「個人入会」に

協会のリビングウイル「尊厳死の宣言書」の書式改正と「会員規程」の一部改正が、6月1日開かれた理事会で承認されました。LWの3項目宣言は変わりません。実施は7月1日からで、主な変更事項は次の通りです。

LWの信頼性と実効性高め

協会LWは、本人の自律性による終末期医療に備えた意思表示書として社会的に高く評価されてきました。一方、社会状況も複雑になり、LWの信頼性や実効性を高める仕組みが求められおり、今回

のLW書式改正はそれに応えるものです。

「リビング・ウイル」に新しく次の2項目が設けられます。

【署名立会人】あなたが自分の意思で「リビング・ウイル」を作成したことを証明する人です。LWは重要な書面だけに、たえず「自律的意思で作成されたか、作成時に意思能力があったのか」が問われます。LW作成の信頼性は協会が担保していますが、立会人署名があれば信頼性がより高まります。

【代諾者】あなたが自分の意思を正常に伝えられない状態に陥ったとき、あなたに代わって意思を伝える方です。重い病状に陥ったり、認知症が進んだりして意思伝達が正常にできなくなる場合に備えたものです。

登録済の「夫婦会員」は継続

LWはそもそも個々人の意思を明示したもので、夫婦でも意思決定は異なります。この制度は1989年、夫婦なら会報を1冊発送すれば済む事務処理上の理由で導入されました。しかし、近年は夫婦像も変化しています。LWの原点に立ち返り、個人々の意思決定を尊重するシステムに改めます。

新方式は7月1日以降の入会者から適用されますので、すでに夫婦会員登録の方は今まで通りで変更はありません。

宣言書の書式変更

- 「尊厳死の宣言書」の名称が、「リビング・ウイル-Living Will (終末期医療における事前指示書) となります。
- 「署名立会人」と「代諾者」欄が新設され、作成者が指定することができます。
- 署名立会人、代諾者は必須項目ではなく、任意です。記入がなくてもLWは作成(入会)できます。

会員規程の変更

- 7月からの新入会はすべて個人会員(正会員、あるいは終身会員)とし、夫婦会員制度を廃止します。
- 夫婦もそれぞれが正会員(同2千円)、あるいは終身会員(同7万円)となります。
- 現在、夫婦会員の方は現行会費(夫婦で年3千円)がそのまま適用されます。



「LWの作成を」 日医が全国発信 岩尾理事長が対談し 協会も協働

3月26日付の読売新聞朝刊の紙面いっばいに日本医師会の横倉義武会長と協会の岩尾理事長の対談「リビングウィルの勧め」が掲載された。日医の意見広告で、LWについてこれだけ大きく全国版に掲載されるのは初めて。

日医は、開業医を中心に16万7千人の医師が加入している。横倉会長は、終末期医療には患者の尊厳や生活の質をより考慮した対応が重視されるためにもLW普及・啓発を進める考えで、マスコミでたびたび発言している。

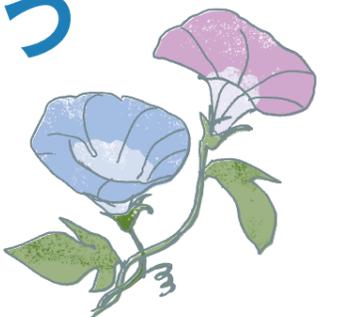
日医は現在、専門家を交えた生命倫理懇談会で高齢者の終末期医療について議論しており、岩尾理事長も委員として参加している。

対談の詳細は「日医ニュース」(5月20日号)に掲載され、全国の開業医、医療機関に届けられた。尊厳死協会の活動も紹介され、「穏やかな終末を迎えるためにもLWの作成を」と呼びかけた。

岩尾理事長は「国民にLWを持ってもらおうという日医の運動に、協会も協働していきたい」と話している。



17年度事業計画・予算決まる LW普及のウイングを広げ 地域活動の担い手を育てよう



一般財団法人日本尊厳死協会の2017年度事業計画および収支予算が3月25日開かれた理事会で決まりました。また16年度の決算案は6月24日開催の評議員会で審議されます。

理事会で岩尾総一郎理事長は「LWの普及・啓発には活動の幅を広げ、地域の医療関係団体とも連携をとれるようにしたい」と述べました。

会員数の現況

16年度末は11万2397人で、1年間に約4000人の減少。新入会員約5300人に対し、退会者(死亡、会費3年未納除籍など)が約9300人。

退会者の内訳では「会費3年未納・連絡先不明」が年々増えて約5千人となり、新入会数に追いつく勢いです。この問題は会員の高齢化(平均78歳)とも絡むことで、協会として対応が迫られています。

17年度の事業計画

①LWの普及啓発活動②研究・提言事業③公益認定への取り組みが、3つの大きな基本方針です。

地域に根ざした普及啓発活動では9支部(県、地域組織を含む)で、講演会、セミナー、出前講座など280回の開催が計画されています。その担い手である支部を支援する2つのモデル事業が実施されます。

一つは、東海支部が地域医師会と連携して進めてきた「シンクタンクの会(終末期医療の研究会)」をLW受容協力医師が積極的に参加できる情報交換、研修の場とします。研究会を通して受容医を増やすモデルとします。

受容医師はこの1年間に250人が新規登録し、1600人にな

りました。今年度は1900人体制をめざします。

また、地域で新しく運動に参加する人たちの育成するため「人材育成研修会」を九州支部で実施(7月、佐賀県で開催予定)し、他支部へも展開します。

協会LWについては「協会発行のLW検討会」報告書(2015年)で課題が提起されており、LW改正に着手します(7頁参照)。また、協会ホームページからのオンライン入会も2018年実施を目標に準備します。

法人の「公益認定」に取り組む

財団法人の「公益認定」申請に対し、国は昨年12月9日付で「不認定」を決定しました。その理由の要旨は「終末期医療について明確な法的裏付けがない現状では、公益性を認めると国が積極的評価を与えたとみられ、医療判断に大きな影響を与える可能性が高まる」でした。

協会は不認定に納得できないので不認定処分の取り消しと公益認定を求める行政訴訟を行う方針で

単位：円 △はマイナス

科目	2016年度予算	2016年度決算(案)	2017年度予算
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	148,419,000	147,197,000	143,488,000
事業収益	1,712,000	2,835,096	1,716,000
受取寄付金	6,315,000	6,705,873	6,212,000
その他収益	333,000	506,647	876,000
経常収益計	156,779,000	157,244,616	152,292,000
(2) 経常費用			
事業費	158,135,032	141,213,419	141,805,000
管理費	28,380,000	27,970,276	29,145,000
経常費用計	186,515,032	169,183,695	170,950,000
当期経常増減額	△29,736,032	△11,939,079	△18,658,000
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△29,736,032	△11,939,079	△18,658,000
一般正味財産期首残高	643,690,262	643,690,262	631,751,183
一般正味財産期末残高	613,954,230	631,751,183	613,093,183
II 指定正味財産増減の部			
①受取寄付金	0	0	0
②特定資産運用益	1,000	48	1,000
③一般正味財産への振替額	△2,310,000	△1,608,120	△812,000
当期指定正味財産増減額	△2,309,000	△1,608,072	△811,000
指定正味財産期首残高	6,713,451	6,713,451	5,105,379
指定正味財産期末残高	4,404,451	5,105,379	4,294,379
III 正味財産期末残高	618,358,681	636,856,562	617,387,562

す。これと別に5月1日、改めて再申請を提出しました。

17年度予算

協会を取り巻く環境も落ち着いて、新入会員増を期待して会費収入は1億4348万円(16年度決算比マイナス371万円)を見込み、経常収入は1億5229万円。経常支出は会員数減少による会報発行費の減額などで16年度決算並の1億7095万円。差し引き1866万円の赤字予算編成となりましたが、予算策定

16年度決算(案)

目標の範囲内で収まりました。経常収支で約3000万円の赤字予算でスタートしましたが、赤字を1800万円圧縮できました。費用のかかる事業の見直しや本部職員の補充見送りなど支出抑制努力がありました。

支部長人事(6月24日付)

北海道支部長 江端英隆(札幌徳洲会病院名誉院長、医師)。松本紀和支部長は退任。

LW受容協力医師制度の展望

医師との接点、

協会からアクティブに

東海支部の「シンクタンクの会」に医師、受容医師の参加が増えている。せつかくの「接点」を相互理解に生かしたい。「会員の希望に沿える」制度につながるのではないかと。

「変わる医療にLWの考え知りたい」

野村秀樹医師 あいち診療所野並(愛知)

第7回シンクタンクの会に名古屋市の野村秀樹医師(53)の姿があった。これまで3、4回参加している。「尊厳死協会はLWを真剣に考える有力団体の一つであり、一般の人の終末期やLWに対する考え方、世論や政策の動向を



野村秀樹医師(診療所で)

知るためにも出席している」と思いを話してくれた。名古屋の東部、天白区の住宅街に「あいち診療所野並」がある。院長の野村医師は在宅患者への訪問診療が多いので白衣を着ないでほとんど独自の診察着で通してい

後、昨年4月から現在の診療所で在宅医療、看取りを行う地域の健康に関わっている。この間、2010年に協会のLW協力医師に登録した。「患者さんに自分が受けた医療の希望があれば、医師としてできるだけ受け入れるのが当然」と思うから。同診療所は医師3人で内科、小児科、訪問医療にあたっている。在宅医療登録患者は約130人

で、1年間に約30人の患者さんを看取っている。「地域の診療所としては多い方だと思う」という。「最後」だけでなく、「最後の診療を共に探る

に1600人を数える。しかし、協会の会報やホームページに掲載し、必要に応じて会員に名簿が提供されるだけの関係に終わりがちなのが現状だ。せつかくの制度を発展させようと、シンクタンクの会を医師と協会、あるいは医師同士のコミュニティを深める場、研修の機会を提供できる場にできないかという考えが生まれている。

終末期にどこまで医療を求めるかなど、医療のあり方が変わってきていることはわかっている。野村医師は「シンクタンクの会に限らず医療関連の研究会にはできるだけ参加している」と言い、医師経験は積んでも学び、理解し合う姿勢は保っている。

東海支部の小林司支部長は「シンクタンクの会に参加する医師が増えているように、野村さんのような考えを持つ医師は大勢いる。協会から積極的に医師と接点を持つてば、LW協力医師の増強にもつながるはず」と抱負を話した。

「LWは確かに最期の時に対応しているが、在宅医療の流れはもう少し手前の段階、つまりACP(患者と医師が最善の治療を探る)の考えを重視することにあるのではないかと感じている。これをどう連携させるかがLWの課題だ」というのだ。

医師との接点の手がかりとしてLW協力医師や登録してくれそうな医師へのアンケートを考えている。①看取りの取り組み状況②受容医師として協力できる範囲、など実際の終末期医療にかかわる医師情報を把握し、協会や協力医師制度に対する注文も知りたい。

次回シンクタンクの会「老年医療」で地域連携の輪を

協会のLW受容協力医師は全国

第8回シンクタンクの会(2018年2月開催)のテーマ

東海支部が愛知県医師会、名古屋市医師会と共催して開く「シンクタンクの会」がいま、協会内外で関心を集めている。2010年に発足した終末期医療の研究会である。

その第7回シンクタンクの会が2月19日(日)、名古屋市の県医師会館大講堂で開かれた。テーマは「がんの終末期医療と緩和ケア」で、医師会会員、受容協力医師、看護師、法律家など60人が参加した。うち医師が半数近い25人だった。講演、報告、意見交換とも高い

レベルで、研究会(医師の受講は日本医師会の教育認定講座に指定)にふさわしい内容だった。シンクタンクの会が関心を集める理由がある。

終末期医療を共に考えながら関係が薄れがちな地域医師会と協会との連携が築かれたことにある。さらに、参加する医師が東海地方のLW受容協力医師(静岡、愛知、三重、岐阜4県で132人)を中心に会を重ねるたびに増えてきたことにある。

は「老年医療」の予定。超高齢多死社会の課題だけに、東海地方で地域医療に携わる「医師集合」の会にしたいと抱負が広がる。看護協会、ホスピス協会にも連携を呼びかけ会の充実を図りたい。LW協力医師制度の発展をめざす試みが続く。

「第7回シンクタンクの会」抄録発行A4版、24頁を東海支部が発行。岩尾総一郎理事長、柵木充明・愛知県医師会長の挨拶、渡辺正・東海中央病院名誉院長の基調講演「緩和ケアの現状と課題」を収録。奥野直美・協立総合病院緩和ケア認定看護師の「緩和ケアの現場から」と青山邦夫・弁護士「終末期鎮静の法的評価」、参加者の意見交換も。

追悼 青木仁子さん

ピオラ奏でた「行動の人」



前副理事長で東海支部長だった青木仁子さんが4月26日、白血病のため名古屋市内の病院で逝去された。享年78。余命3か月を告知されて14か月、「ただ生きるための輸液は結構です」と、LWを実践した最期だった。

たの痛みはとれる(2013年)という2冊の協会本の編集長として出版へ猛進したことに現れている。また「シンクタンクの会」を立ち上げた。

市民派弁護士との傍ら1991年に会員となり、東海支部での活動から全国の活動リーダーへ翼を広げた。ひとりで表すなら「行動の人」につきる。それは東海支部長時代に「私が決める尊厳死」(2007年)、「あな

仕事を離れば潤いを求めてピオラを奏で、名古屋法曹パロックアンサンブルの一員で舞台にも立った。以前の会報に「最期はマーラーの交響曲第5番アダージェットを聞きながら消えていきたい」という言葉が残っている。「暗から明へ」の楽曲で送られたに違いない。合掌。

東海支部長 小林 司

季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌でつづるページです

四季の歌

——その風景と背景

第一回

われは海の子

●文部省唱歌

我は海の子白浪の
さわぐいそべの松原に、
煙たなびくとまやこそ
我がなつかしき住家なれ。

生れてしおに浴して
浪を子守の歌と聞き、
千里寄せくる海の気を
吸いてわらべとなりけり。

高く鼻つくいその香に
不断の花のかおりあり。
なぎさの松に吹く風を
いみじき楽と我は聞く。

〔尋常小学読本唱歌〕明治43・7より

文部省唱歌の一つで、2007年に日本の歌百選に選出。作詞、作曲とも不詳だが、宮原晃一郎(1882~1945)の娘と芳賀矢一(1867~1927)の義理の娘が、自分の父あるいは義父ではないかと申し出ている。宮原の原作を芳賀が改作したとする説も。
日本の浜辺の多くがまだ白砂青松であり、そこにあった「苦屋」(簡素な浜辺の作業小屋)など日本の浜辺の原風景が織り込まれている。



LWのひろば

私の五行歌より

小林美智代 81歳 埼玉県

雪の降る日
尊厳死協会の
会報を読む
よく逝きたいと
願うばかり

きちんと逝きたい
その思いの中で
深呼吸
長生きがつきつける
大きな課題

今年は桜がながもちしています。

「散る桜 のこる桜も散る桜」

いつかどこかに書かれていたこの文字。春がくると思い出されます。今日はお便りがしたくなって一筆。

母に詫びたい気持ち

佐藤敏子 89歳 千葉県

母は96歳で亡くなりました。健康で、姉一家とともに幸せな晩年を送っていました。最晩年の2年間は、入院生活を余儀なくされました。管だらけの、見るも無惨な日々。甘んじなければならなくなりました。意思はしっかりしていましたが、鼻から入れられている管を抜き、縛ら



霧ヶ峰の車山高原に
夏色が立ち上がる

撮影/村上宏子さん
(東京都豊島区)

八重樫先生のここがポイント

ローアングルで撮ったアザミの花が青空にぼっかり、ぼっかり。高原の夏を感じさせます。

明で苦しみ、延命されて86歳で死んだ兄、65歳の若さで肺がんになり末期病棟に移され、ただ死を待つだけの義弟もみえました。死ぬ苦しみにぞっとしました。
この私は49歳で会社倒産に遭い、転々と職を求め、経営管理士の資格を持っていたため小会社のリストラに携わり、ほっとした時、心臓発作に倒れ、救急車で入院。死を免れ、

れている手を解き、繰り返し抵抗しましたが、最後まで自由の身となれないまま立ちました。

私たちは本当につらい思いをし、母に詫びる気持ちが今も残ります。二十数年も昔のことですから、医療方針としてやむを得なかったかとも思いますが、以来、あのような晩年は避けたいと切に願うようになりました。たまたまりビングウイルの存在を知り、即入会し、現在8年を経て安んじております。7月で89歳になり、要介護2ですが、穏やかに過ごさせていただき感謝しております。

リビングウイルの鐘

山田良子 90歳 愛媛県

平成9年元旦の病室で、若松色の大島羽織をはおった主人と新春を迎える。毎日幾度も鳴る電車信号音を聞く病室で、冬至を越した枕辺に掛けた「陽来復」の色紙に少し心の安らぎをいただいていた。突然、主人が「紙と鉛筆を」とのこと。無理なので、私の手帳に私が代筆する。

「この後、急変の時は生命維持装置を辞退します」の一行だった。その代筆を見て主人は「俺の大正生まれ

10日ほどで意識がはっきりし、突然の死の恐怖に脅えたのです。

死はいつくるかわからない。遺書を書いて、妻子へのお礼、当時生存の兄や故郷の姉たちにもお礼の言葉を残しました。以来、会報「リビングウイル」を拝読して、本当に入会してよかったです。

この春の彼岸には葬儀の生前予約をしました。細かいところまで確認を取り交わしました。尊厳死協会の会員証もいつも身につけています。事情を話したら、住職も葬儀社の人も「死んで慌てふためぎ、大金をかける延命治療で苦しませて死んでいく人が大半なのに素晴らしい」と言われました。

今、改めて、6年前の入会に感謝しております。

ヘルプのつもりが……

吉成健吉 66歳 東京都

60歳目前の頃、日本尊厳死協会の関係者から「少し手伝ってもらえないか」と声がかかり、支部理事として関係することになりました。年数回の「公開講演会」の運営、「地域サロン」と称するミニ集会での対話、

の美学だ」と、青年のような笑みを久しぶりに浮かべた。1月31日、小雪の舞う日、72歳で、仲の良かった私の父の命日の1日後に旅立った。

一周忌納め、前から決めていた尊厳死協会に入会手続きを取る。3か月ほどして会員証が届いた。なんとその日は、生前待ちに待っていた私たちの金婚の日であった。リビングウイルの祝福の鐘が、彼岸の主人と私に「金婚の証」を授けてくださった、と涙涙であったことを思い出す。

モンゴルのオゴタイハーンの「永遠なるものとは何か、それは人間の記憶である」の言葉を胸に、平成9年4月7日の記憶と会員証は、未来永劫のパスポートとし、私の宝物と思っている。

三回忌

納めし後にいちにんを
ゆるりと恋ひぬ水仙岬

良子

入会にしみじみと感謝

梅原 明 88歳 東京都

私が尊厳死協会に入会したのは2011年6月です。何日も意識不

「出前講座」と呼んでいる、看取りや緩和医療について公民館などでお話する諸活動を通じて、まだまだ知られているとは言えない「リビングウイル」(事前指示書)について、地道な広報活動を進めています。

人は必ず亡くなります。自分の終末期をどう迎えるのか、残された家族に迷惑をかけるない逝き方とは……本当に難しく、納得のいく正解があるのかすらわかりません。遺書や遺言状ではなく、元気に生きている時に希望を伝えることがとても大切なことだと、再認識している昨今です。

編集部より

● 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でもけっこうです。600字以内で。掲載の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

● 写真の募集 10月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送。選者は日本写真家協会の八重樫信之氏です。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは8月15日です。

北海道支部 ☎ 011-736-0290 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.com

おしゃべり広場

日程◎7月18日、9月19日
いずれも火曜日、午前10時～正午
会場◎札幌エルプラザ4階研修室
札幌市のJR札幌駅北口近く
それぞれ先着20人。予約は不要です。



支部「帯広とかち懇話会」は定期講演会を開いています。5月20日(土)も会場いっぱいの参加者でした。

東北支部 ☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.com

第21回 支部山形大会

特別講演「**ピンピンコロリって無理**」
～平穏死できない現実を知ろう

日程◎9月2日(土)午後1時半～4時15分
会場◎山形市の「山形テルサ」3階、アプローズ
JR山形駅西口より徒歩3分

講師◎長尾和弘・協会副理事長
長尾クリニック院長(尼崎市)

シンポジウム
「どう過ごしますか? 人生の最終段階を」

司会◎山川真由美・支部理事
(山形大附属病院疼痛緩和医療部長)

コメンテーター◎
長尾和弘さん
川村博司さん(三友堂病院緩和ケア科)

清野由美子さん(山形県栄養士会副会長)
峯田幸悦さん(特別養護老人ホームながまち荘施設長)
山田敬子さん(山形県置賜保健所長)
参加費無料、どなたでも参加いただけます

**第25回仙台駅横
リビング・ウイユ交流サロン**

テーマ「こんな終活(終末期への活動)しています」

日程◎7月21日(金)午後2時～3時半
会場◎「せんだいアエル」6階特別会議室
(JR仙台駅西口、徒歩3分)

お誘い合っ、どなたでもどうぞ。無料
次回「交流サロン」は10月13日(金)、
場所・時間は今回と同じです

関東甲信越支部 ☎ 03-5689-2100 ✉ kantou@songenshi-kyokai.com

地域サロンin船橋

日程◎7月27日(木)午後1時半～3時半
会場◎船橋市勤労市民センター第1講習室
JR船橋駅、京成線京成船橋駅より徒歩5分

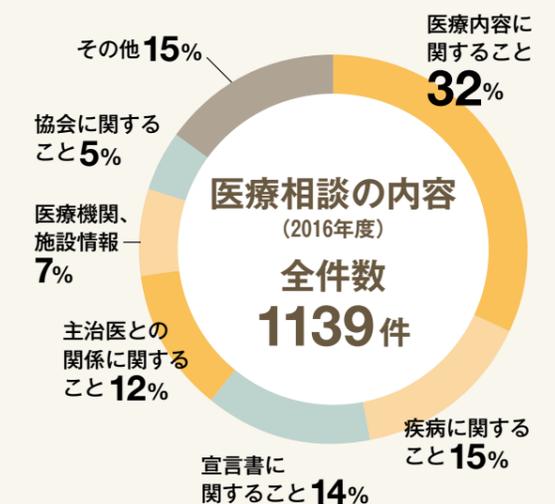
地域サロンin新百合ヶ丘

日程◎7月30日(日)午後2時～4時
会場◎川崎市の麻生市民館第1会議室
小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分、
麻生文化センター内

サロンin本郷へどうぞ

地域サロンと内容は同じで、お茶を飲みながら
皆さんでお話する会です。
日程◎7月14日(金)、22(土)、9月8日(金)、
9月16日(土)、10月13日(金)、28日(土)
時間はいずれも午後1時半～3時
会場◎支部事務所(本部事務所内)
地下鉄丸ノ内線または大江戸線
「本郷三丁目」駅下車、徒歩1、2分
in本郷は支部に電話予約を。

2016年度
「電話医療相談」まとまる
2年連続して千件超す
浮かび上がる
「医師と相談したいが
できずに悩む姿」



「延命措置の中止を申し出たら、病院から出されてしまうのではないかと不安でいっぱいだ」
「延命治療の中止や不開始に際し、どのように医師に言ったらいいのかわからない」
「現在の状態が終末期に位置し延命措置になっているのかどうか、医師と話し合いたいが、できずに悩んでいる」
そんな「電話医療相談」に、日本尊厳死協会では相談員スタッフ(看護師)が対応し、相談者に必要情報を提供し支援する活動を行っています。このほど2016年

度の相談結果がまとまりました。相談総件数は472件で、最高だった前年度とほぼ同数。内容項目別件数(相談1件につき複数の内容項目にわたる)は1139件。これも昨年度とほぼ同数で、2年連続して千件を超えています。1件に要する時間は増える傾向にあるといえます。「30分から40分程度、及ぶことも少なくありません。相談内容も複雑化していますから」と相談員は言います。

迫られる胃ろうの判断

と、「医療内容に関すること」(364件、32%)が最も多く、次いで「疾病に関して」(175件、15%)、「宣言書に関して」(161件、14%)と続きます。「主治医との関係に関して」は138件で12%でした。最も多かった「医療内容に関すること」をさらに項目別でみると「現病・治療内容」が156件、「尊厳死の尊重」が130件、「延命措置」が68件でした。延命措置の中の「胃ろう、経鼻管栄養、中心静脈栄養」など水分・栄養補給の相談は46件。数は多くありませんが、「口

で食べられなくなった場合、胃ろうなど人工的栄養を受け入れるか否かの判断を迫られて困っている家族の姿」が浮かび上がってきました。
こうした相談内容は項目で分けて分類していますが、「医療内容」「疾病」「主治医との関係」などの項目はそれぞれ相互に関連しており、「医療相談」の根幹ともいえるものです。
「疾病の理解・受け止めの整理ができないと、病状や経過、予後に関する事実確認ができませんし、現在の状態がはたして終末期にあたるのか、この治療は延命措置になるのかどうかの判断もできません。尊厳死のためにどうしたらいいのか、など医師と肝心な相談をしようにもできずに悩んでいる相談者の姿がみえます」と、相談員は話します。

公開講演会

日程◎10月8日(日)午後1時半～3時半
会場◎広島市民病院10階講堂
広島県庁の隣、広島バスセンターから徒歩7分

演題「ホームホスピスと言う選択」
～あなたは何処で最期を迎えますか?～

講師◎市原美穂さん
NPO法人ホームホスピス宮崎理事長
宮崎市に1992年、終の棲家「かあさん
の家」開設。第67回保健文化賞受賞

報告「広島におけるホームホスピス
からの現状報告」

講師◎広島市南区、「ゆずの家」代表
亀田浩子さん
佐伯区、「まるんの家」代表
栗山恵子さん

講演、報告のあと質疑応答があります。
問い合わせは支部へ

後援◎広島県、広島市、広島県医師会、広島市
医師会、中国新聞社、在宅・施設医療ネ
ットワーク広島、高齢社会をよくする女
性の会・広島、NPO中国シニアライフア
ドバイザー協会

エンディングノート講座

テーマ「健康寿命を延ばすためには」
～いつまでも自分の足で元気に歩こう

日程◎7月5日(水)午前10時～11時
会場◎四国支部事務所
(松山市大手町1-8-16二宮ビル3階)

講師◎御堂正江さん(NPOえひめ足の健康さぽー
と倶楽部代表)

受講ご希望の方は四国支部事務所にご連絡下さい

懇談会in大洲

日程◎7月27日(木)午前10時半～11時半
会場◎大洲市総合福祉センター3階集會室
大洲市東大洲270番地1

野元正弘支部長(愛媛大学医学部附属病院薬物療
法・神経内科特命教授)が「認知症の予防と終末期
の対応」について話します。
大洲支部老人クラブ連合会女性部と懇談。

サロン・喫茶去だんだん

お茶を飲みながら懇談しましょう。

7月7日(金) **健やかに楽しい過ごし方の
実践について**

9月1日(金) **真夏をどのように
乗り越えましたか**

(8月はお休みです)

趣味あれこれ会

絵手紙・俳句・百人一首など
楽しんでいます。

日程◎7月21日・9月15日(8月はお休みです)
会場◎いずれも金曜日午後1時半～3時半、松山
市の支部事務所

お気軽にお立ち寄りください。

リビングウイール懇話会in四日市

日程◎9月24日(日)午後1時半～4時
会場◎四日市市文化会館第3ホール

報告「尊厳死について」

講師◎小林司・東海支部長

講演「自分らしく生きる、
素敵に最期を迎えるために」

講師◎松本好市さん・四日市羽津医療センター名
誉院長、元東海支部理事

意見交換もあります

リビングウイール研究会 北陸地方会

テーマ「在宅医療とリビング
ウイール(安らかな終末)」

日程◎7月8日(土)午後1時半～午後3時半
会場◎金沢市文化ホール 金沢市高岡町15番1号

シンポジウム

講師◎金川琢雄・金沢医科大学病院名誉教授

シンポジスト◎
医師の立場から
大和太郎氏 在宅医療医・やまと@ホームクリ
ニック院長(元済生会金沢病院外科医師)
看護・介護の立場から
白川優子さん 医療法人社団白山会看護師
患者の立場から
伊藤冴子さん 元北陸支部理事
患者家族の立場から
中田内蔵司 北陸支部理事

コメンテーター◎喜多正樹・北陸支部理事、独
立行政法人地域医療機能推進機構麻酔科医師

市民公開講演会in西宮

テーマ「穏やかな最期を迎える
ために」

日程◎10月7日(土)午後1時半～午後4時半
会場◎西宮市民会館アミティホール
阪神西宮駅「市役所口改札」北へ徒歩1分
JR西宮駅から西南に徒歩10分

講師◎関本雅子さん(関本クリニック院長 関
西支部理事)

司会◎長尾和宏(副理事長 関西支部長)

定員◎1,000人

どなたでも参加できます。
お申し込みは関西支部まで
メール、あるいはFAX06-4866-6375
件名を「西宮講演会申込み」としてお名前、連
絡先、参加人数を明記の上送信願います。

サロン交流会

テーマ「エンディングノートと
自分らしい生き方・逝き方」

日程◎8月1日(火)午後1時半～3時半
会場◎関西支部事務所

定員◎15人、予約を支部まで

竹内支部理事担当し自由に話し合います。

定例サロンへのお誘い

日程◎第2、第4火曜日午後1時半～4時
7月11日、25日
8月8日、22日
9月12日、26日

会場◎関西支部事務所(JR新大阪駅、地下鉄新大
阪駅から徒歩5分)

事務局からのお願い

● 会員番号について

協会への様々なお問い合わせやご連絡(住所
変更、カード再発行、会費支払等)には、会員
番号(会員証や宣言書コピーに記載)が必要に
なります。お手元にご用意ください。

● 退会の手続き

退会には会員の方の手続きが必要です。本部
事務局までご連絡ください。会員の方がお亡く
なりになった場合は、ご遺族の方からのご連絡
となります。よろしくお願いたします。

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
賛天会 くぼたクリニック	泌尿器科 内科	窪田 正典	大分県宇佐市上田81番地の1	0978-34-0030
医療法人花葉会 船塚クリニック	内科・外科	日高 淑晶	宮崎県宮崎市船塚3丁目114-2	0985-73-8830
医療法人 あたらしい風 ライフクリニック	内科・消化器内科	足立 英一	宮崎県都城市安久町6337-2	0986-39-2525

ご寄付ありがとうございました (敬称略)

我孫子孝夫	10,000	坂本一子	10,000	茂呂一男・富子	1,000
新井祐子	50,000	佐々木史郎・とき子	10,000	矢崎正則	1,000
安藤政人	4,000	島野みち子	6,810	柳川恵子	4,000
五十嵐公輝・敏子	2,000	白戸雅子	3,200	山口 隆	3,000
伊藤睦子	4,000	杉田茂子	10,000	山崎恵子	20,000
稲富長治	18,311	鈴木悦朗	15,100	山崎 稔	10,000
岩村 巖・麗子	2,000	鈴木靖古	2,000	和佐千代子	2,000
内田雅子	2,000	鈴木康子	10,000	渡瀬政道	3,250
梅澤正義	10,000	田川千代子	5,000	和田みのり	2,000
大原トキ子	20,000	竹内敬之助	10,000	匿名	10,000
大石豊次	4,000	田代ヒロ子	7,816	匿名	3,000
大森洋一	3,000	戸谷富美	2,000	匿名	20,000
大嶋美子	10,000	中島晋吾	2,460	匿名	10,000
小川明子	1,000	中山護子	20,000	匿名	2,570
加藤洋是・かつ子	10,000	中山 孝	10,000	匿名	8,000
加藤登志子	14,000	長屋 稔	10,000	匿名	50,000
金森喜代	1,000	西川 明	3,000	匿名	20,000
川原八重子	3,000	西村日貞子	1,000	【関東甲信越支部扱い】	
草刈 洋・喜代子	10,000	林 喜久江	10,000	久米麗子	2,000
倉田美保子	2,000	古江まき子	2,960	石井玲子	5,000
毛塚乃夫子	5,000	宮里豊子	3,000	匿名	5,000
小山千恵子	1,066	森 迪也	2,000	【関西支部扱い】	
				二松 康	50,000

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。

切手でのご寄付もお受けしています。

いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。

皆さまのご協力、ご支援をお待ちしております。

医療相談 (通話無料)

0120-979-672

月・水・金曜日
午後1時～5時(変更あり)

病気や医療、特に終末期の医療や主治医との関係について、心配ごとや困りごとを専門の相談員スタッフ(看護師)が丁寧にお聴きし、サポートします。

医療相談は、協会が最も重視している会員向けの無料サービスですが、一般の方でもご利用いただけます。皆さま自身の考え方を整理し、主体的に考えて解決していけるように支援しています。お電話をお待ちしています。

LWの受容協力医師

第88報

2017年3月～5月の間に新しく登録された医師の方々です。

【会】は会員医師

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
つくしんぼ診療所	総合診療	鉦 裕和	東京都板橋区大山西町70-10-1	03-3972-1165
つくしんぼ診療所	総合診療	斉藤未央	東京都板橋区大山西町70-10-1	03-3972-1165
つくしんぼ診療所	総合診療	大久保陸洋	東京都板橋区大山西町70-10-1	03-3972-1165
医真会 世田谷ホームケアクリニック	在宅医療	太田雅也	東京都世田谷区南烏山1-10-25 グランディオール芦花1F	03-5316-5250
明生会 セントラル病院	内科	一森美生江	東京都渋谷区松濤2-18-1	03-3467-5131
国立国際医療研究センター		今井健二郎【会】	東京都新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181
東京大学医学部附属病院	肝胆膵外科	福田開人	東京都文京区本郷7-3-1	03-3815-5411
東邦大学医療センター大橋病院	腎臓内科	久保 峻	東京都目黒区大橋2-17-6	03-3468-1251
神奈川 ひまわりクリニック		黒木良和	神奈川県川崎市宮前区宮前平3-3-26	044-853-7001
海浜整形外科	整形外科 漢方	中村謙介【会】	千葉県千葉市美浜区真砂4-17-18	043-277-7785
みたにクリニック	内科 神経内科	三谷雅人	埼玉県さいたま市大宮区土手町2-1-3カオルビル1F	048-648-6551
医療生協さいたま生活協同組合おみや診療所	内科	山田晃務	埼玉県さいたま市西区指扇1100-2	048-624-0238
きむら内科外科クリニック	内科 外科 血管外科 乳腺外科 消化器内科	木村秀生	埼玉県川口市西青木1-21-19	048-291-8560
メディクス草加クリニック	内科 外科	高橋周二	埼玉県草加市氷川町2149-3	048-920-6161
あゆみクリニック	内科	藤川万規子	埼玉県春日部市大枝400-4	048-731-3283
勝海外科	外科 胃腸科 内科 呼吸器科 整形外科 皮膚科	勝海東一郎	埼玉県和光市新倉1-11-1	048-464-2685
医療法人社団堀之内クリニック	内科	三原結子	埼玉県新座市本多1-3-8	048-483-2222
内田クリニック	外科 内科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 肛門科	内田 治	埼玉県北足立郡伊奈町内宿台5-4	048-728-9296
医療法人社団一葉会ひらお内科クリニック	内科 心療内科	平尾良雄	埼玉県北本市中央3-71-4	048-592-8861
南須原医院	内科	南須原宏城	埼玉県秩父郡長瀬町本野上174-3	0494-66-2038
宇都宮協立診療所	内科 総合診療	武井 大	栃木県宇都宮市宝木町2-1016-5	028-650-7881
生協ふたば診療所	内科 総合診療	北岡吉民	栃木県宇都宮市双葉1-13-56	028-684-6200
いちばらファミリークリニック	外科 内科 整形外科 消化器内科	市原征洋	栃木県宇都宮市中里町322	028-612-8350
医療法人アスス蔵の街診療所	総合診療(内科)	福地将彦	栃木県栃木市今泉町1-17-29	0282-29-3131
たなか医院	内科 循環器内科	田中 享	群馬県邑楽郡大泉町住吉55-16	0276-62-2881
下田内科医院	内科	下田隆也	群馬県前橋市南町3-64-13	027-221-3155
山田内科クリニック	脾臓 胆のう 膵臓 胃腸 呼吸器 アレルギー 循環器内科 小児	山田俊彦	群馬県伊勢崎市大手町24-8	0270-23-6666
中島医院	内科	中島貞男	長野県下伊那郡下條村陽阜2731	0260-27-3577
杉山外科医院	外科	杉山 敦	長野県松本市島立183	0263-47-1753
医療法人誠和会中沢クリニック	内科 消化器科 小児科	中澤 肇	山梨県甲斐市竜王3091-1	055-276-8111
社会福祉法人緑樹会ほくと診療所	内科 在宅科	高添明日香	山梨県北杜市明野町上手520	0551-25-2901
服部外科医院	脳神経外科	服部 伸	新潟県上越市本町1-5-3	025-523-3475
田中外科医院	外科	田中陽一	新潟県十日町市田中町本通272-3	025-752-2403
聖徳会 クリニックいわた	精神科 内科	橋本篤孝	大阪府松原市阿保3-4-31	072-337-8821
俊仁会 きららファミリークリニック	内科 外科 皮膚科 緩和ケア内科	吉良俊彦	大阪府堺市西区上467	072-274-1401
尾木医院	内科 小児科	尾木さおり【会】	高知県安芸市本町3-10-30	0887-34-3155
蜂須賀病院	脳神経外科 整形外科	江崎正孝【会】	福岡県宗像市野坂2650	0940-36-3636
佐賀県医療センター好生館	緩和ケア科	鶴池直邦	佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400	0952-24-2171
大生会 衛藤外科	胃腸科 外科 肛門科 整形外科	衛藤大典	大分県杵築市大字大内7695-1	0978-63-6977
天心堂へつぎ在宅クリニックASO	内科 外科 麻酔科	麻生哲郎	大分県大分市大字中戸次寺ノ内511-1	097-597-7700
善昭会 オアシス外科・乳腺外科	外科 消化器科 肛門科	川野克則	大分県大分市東鶴崎2-3-35	097-523-0007
武史会 吉田病院	内科 リウマチ リハビリテーション科	吉田 史郎	大分県臼杵市大字檜懐1468-1	0972-65-3342

※LW受容協力医師名は、協会各支部ホームページで閲覧できます。 会員専用認証パスワードは「jsdd」です。

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@songenshi-kyokai.com
ホームページ
http://www.songenshi-kyokai.com
郵便振替口座
東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807 札幌市北区
北7条西2丁目6 37山京ビル801
TEL 011-736-0290
FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町
1-12-39 旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033 東京都文京区
本郷2-27-8 太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海支部

〒453-0832 名古屋市中村区
乾出町2-7 正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL 052-481-6501
FAX 052-486-7389

●北陸支部

〒920-0902 金沢市尾張町1-7-1
山崎法律事務所内
TEL 076-232-0900
FAX 076-232-0932

●関西支部

〒532-0003 大阪市淀川区
宮原4-1-46 新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365
FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024 広島市中区
西平塚町2-10
TEL 082-244-2039
FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067 松山市大手町1-8-16
二宮ビル3F B
TEL 089-993-6356
FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001 福岡市中央区
天神1-16-1 毎日福岡会館5階
TEL&FAX 092-724-6008

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。

リビング・ウイル Living Will

(終末期医療における事前指示書)
(平成29年7月改訂)

この指示書は、私の精神が健全な状態にある時に
私自身の考えで書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私
自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成
しない限り有効であります。

□ 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であ
り、既に死が迫っていると診断された場合に
は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延
命措置はお断りいたします。

□ ただしこの場合、私の苦痛を和らげるため
には、麻薬などの適切な使用により十分な緩和
医療を行ってください。

□ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物
状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめ
てください。

以上、私の要望を忠実に果たして下さった方々
に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要
望に従って下さった行為一切の責任は私自身にあ
ることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ
りが近づいたら延命措置を望ま
ないで、自然の摂理にゆだねて
寿命を迎えるご自分の意思を表
した「リビング・ウイル」を発
行、その普及に努めています。

現在11万人を超す方々が「リ
ビング・ウイル」を持ち、安心し
た日々を送っています。自然の
まま寿命を迎えることは、最期
の日々をよりよく生きること
であり、今を健やかに生きること
につながります。

お友だちやお知り合いに協会
や「リビング・ウイル」のことを
お伝えいただければと願って
います。

事務局から

会費の自動払込の案内 希望者にご連絡ください

協会年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から
自動引き落とし)制度があります。利用には諸手続きがあり
ますので、ご希望の方は本部事務局まで連絡をお願いします。
次の要領で実施しております。

- 対 象 ▶ 希望の会員
- 払 込 日 ▶ 会費払込該当月の28日(7月払込の方
なら7月28日に引き落とし)
- 払 込 額 ▶ 会費相当額
- 手 数 料 ▶ 1回の払込に162円(150円+税)の
ご負担があります
- 取 扱 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、
金融機関 ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領 収 書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可
能です。会報が緑色のビニール封筒で届いたら年会費の納入
時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあり
ます。



今号の1枚
『炎暑彩る』

Living Will 目次

— 会報2017年7月 No.166 —

- 02 インタビュー
舞台美術家
妹尾河童さんご夫妻
 - 07 協会LWと会員規程の改正
 - 08 2017年度事業計画・予算決まる
「LWの勧め」で日医と協働
 - 10 LW受容協力医師制度の展望
東海支部「シンクタンクの会」生かし
 - 12 新連載「四季の歌」
われは海の子
 - 14 ●LWのひろば
 - 16 ●「医療相談」2年連続千件超す
 - 17 ●支部活動 2017 夏～秋
 - 20 LW受容協力医師リスト第88報
 - 22 事務局から／編集後記／目次
 - 23 終末期医療における事前指示書／
本部支部一覧
- 裏表紙 出版案内

協会会員:11万2976人
(2017年6月8日現在)

次号は、
2017年10月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

●窓辺から移ろう季節を眺め、
つい口をついてくる懐かしい
唱歌。四季折々にお届けする
会報に、そんな「四季の歌」の
ページを新たに設けました。
写真と歌詞で、ひととき「尊
厳死」から離れ、豊かな時間に
浸っていただければ。秋には
「虫のこえ」、冬には「囲炉裏
火はとーろとーろの「冬の夜」、
春には「朧月夜」などを考え
ています。どうぞ、ご期待くだ
さい。(郡司)

●前号「LWのひろば」に投
稿を掲載した小堀雄三さんか
ら、原稿が圧縮されて文意が
損なわれた、とお叱りをいた
だきました。編集上の至らな
さをお詫びしながら、いつの
間にか漫然さと連れ添う齡に
気がきます。会報に、増える会
費未納問題は「会員の高齡化
(平均78歳)とも絡む」と書き
ましたが、他人事ではありま
せん。わが身にもとは悲しい
自己弁護です。(白井)

お求めは書店で



2000人の最期を看取った
医師だから言えること。

『痛くない死に方』

長尾和宏 著

- がん終末期の場合 ● 臓器不全症の場合
- 認知症終末期の場合 ● 人工透析の場合
- 老衰の場合 ● 安楽死の真実……今まで誰も言わなかった『痛くない』『苦しくない』人生の終わり方とは？日本尊厳死協会の副理事長でもある長尾医師が、「死」と「痛み」について具体的に語り尽す。

（ブックマン社、1080円税込）

あなたにとって
本当に必要な薬とは？

『薬のやめどき』

長尾和宏 著

高血圧・糖尿病・骨粗しょう症の薬、睡眠薬、抗不安薬、胃腸薬、抗生物質……。薬の種類が増えるごとに健康寿命から遠ざかる。5種類以上の薬を飲んで人は是非読んでみてほしい」と長尾医師。「薬のやめどき」から、長生きと健康について、わかりやすく指南した本。

（ブックマン社、1404円税込）

日本尊厳死協会の出版案内

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社



人生の最期で迷わないために
「尊厳ある生」を望むあなたに！

専門医が「不治かつ末期」を分かりやすく説明します。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す？
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら？
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら？
- 救急医療 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは？
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は？
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か？

お求めは
協会事務局で

1100円（税・送料込）。お名前、住所、購入希望本を明記のうえ、代金を現金書留または定額小為替か
切手相当額を同封して協会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501）宛に郵送してください。